
王子公園再整備

～基本方針(素案)見直しに向けた意見交換会～

【意見募集の期間】

令和3年12月10日（金）～令和4年1月17日（金）

【意見通数と件数】

①市民意見募集による市民の意見	1,456通	(5,632件)
②市民意見募集による市民以外の意見	892通	(2,747件)
③わたしから神戸市への提案	1,026通	(2,841件)

【様々な観点から多くのご意見】

- ・ 動物や景観などへの影響を懸念する声
- ・ 王子公園への愛着などから既存施設の存続を望む声
- ・ 市民の声を聞かずに基本方針（素案）が策定されている
- ・ 基本方針（素案）の周知が十分でない
- ・ 市民意見募集の期間が短い 等々

再検討

「市の考え方」「施設の見直しの方向性」

1. 見直しに向けた市の考え方

(1)再整備の背景、意義

(2)ゾーニングについて

(3)見直しの進め方

2. 各施設の見直しの方向性

1. 見直しに向けた市の考え方

(1)再整備の背景、意義

- ・多くの施設が老朽化しており、**大規模修繕・更新が必要**
- ・「原田の森」として育まれた歴史、神戸を代表する景観

将来の世代へ確実に継承

持続可能な神戸の発展

➡ **若年定住・交流人口の増加、都市ブランド向上**

「市域全体への貢献」と「近隣地域への貢献」の両立

1. 見直しに向けた市の考え方

(2)ゾーニングについて

- ・ 誰もが憩い、くつろげる一般に開放された空間を拡大
(現在は有料の施設が多く、一般に開放された空間が点在)
- ・ 物理的つながり、視覚的な拡がりの確保を重視



より開放的な公園として再整備を目指す

1. 見直しに向けた市の考え方

(2)ゾーニングについて

- ・平面駐車場を見直し「緑の広場」を整備
- ・スポーツゾーンは、王子公園北側の既存施設と集約

効率的な土地利用でまとまった空間を創出

➡ 新スタジアム周辺に**多目的広場**や**新たな施設**などを整備



多目的に使える広場を南北にバランスよく配置
一般に開放された空間を拡大

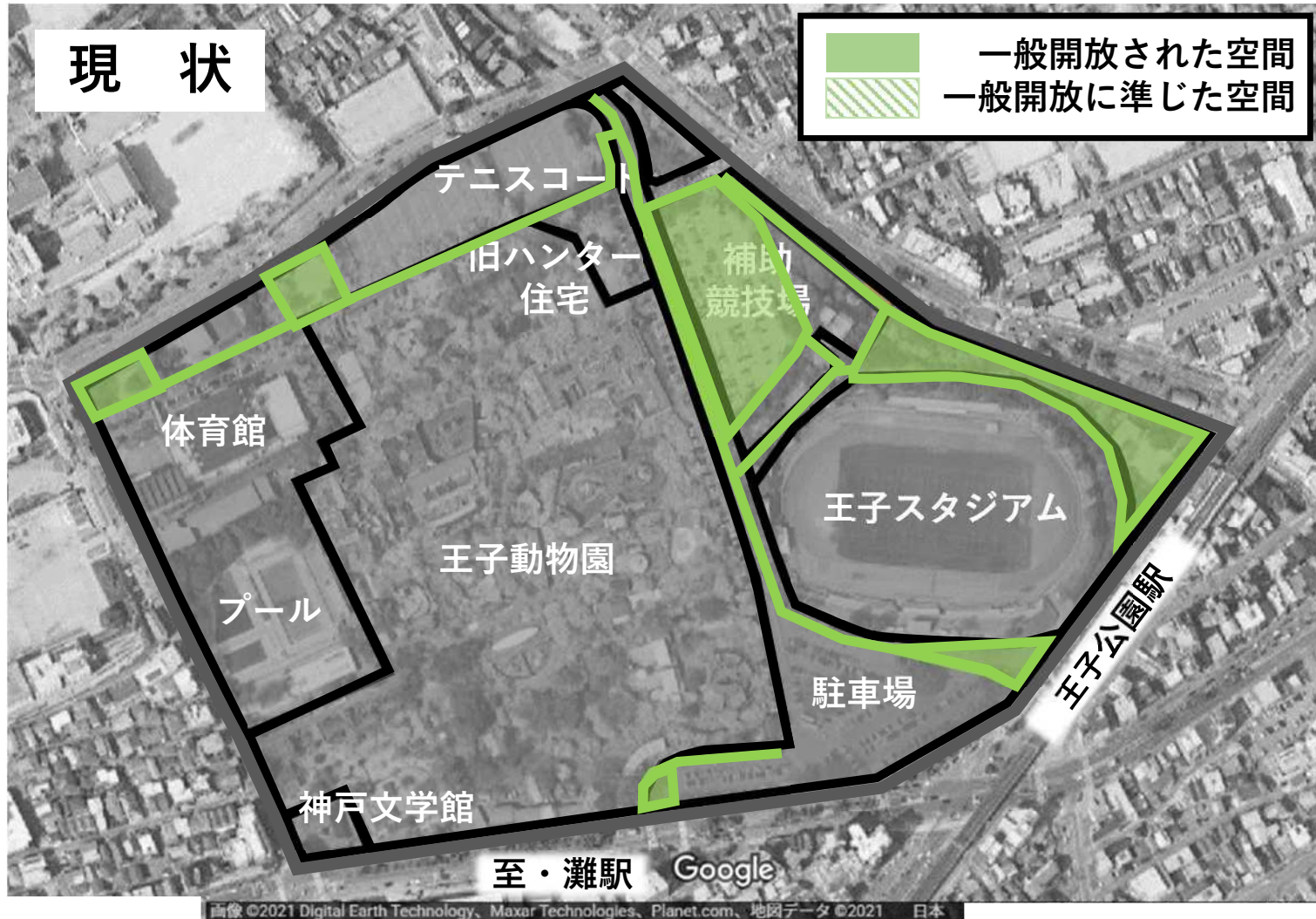
1. 見直しに向けた市の考え方

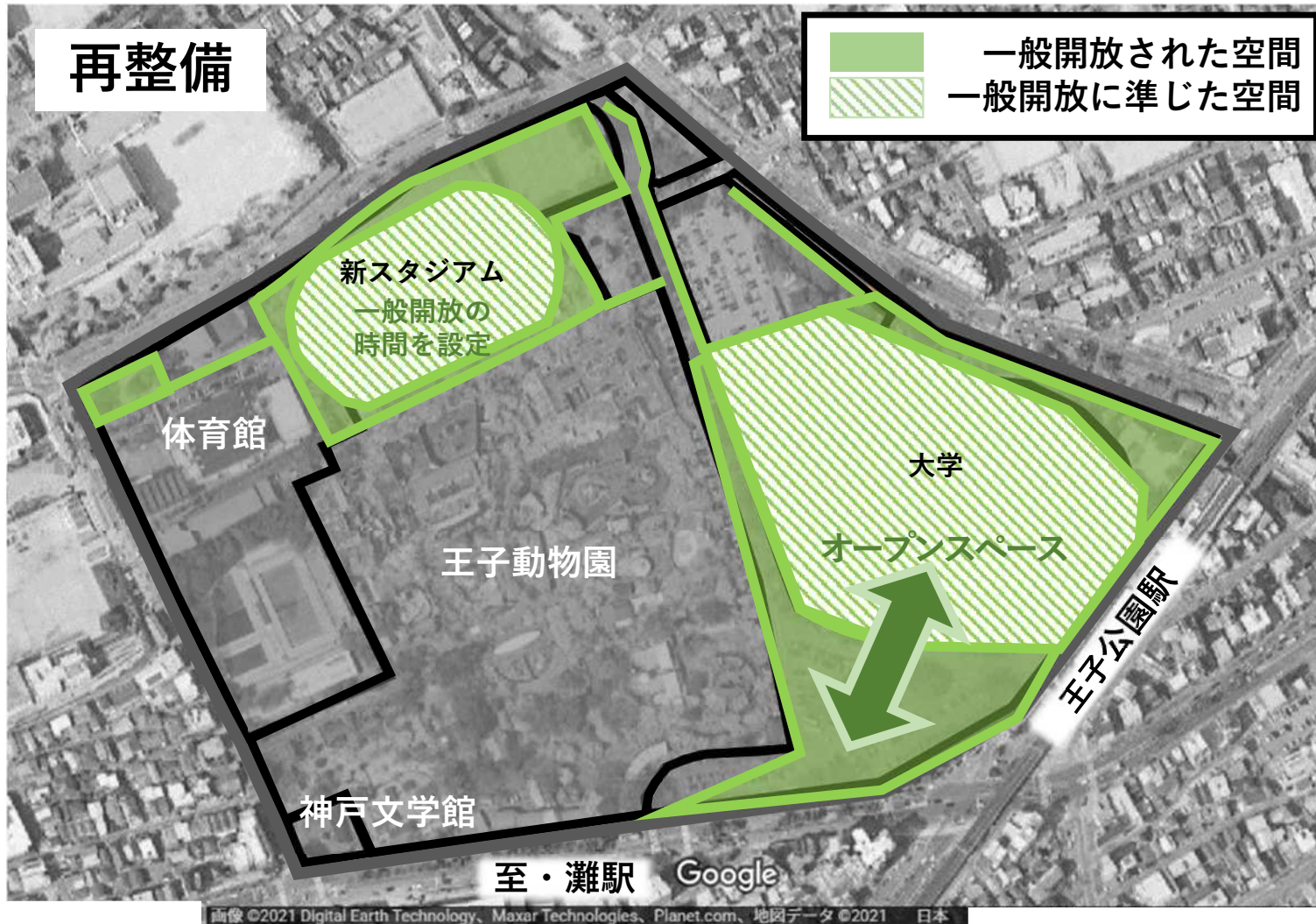
(2)ゾーニングについて

- ・大学の「オープンスペース」と「緑の広場」を一体化
 - ➡ **開放感のある魅力的な空間**を創出
- ・駐車場は、補助競技場の位置に変更、進入路を東側に変更
 - ➡ 従来の進入路を**歩行者専用の空間**に整備



各ゾーンを結ぶ緑の景観軸の形成（シンボルプロムナード）





1. 見直しに向けた市の考え方

(3)見直しの進め方

①市民の皆さまから直接ご意見やご提案をいただきながら、
基本方針（素案）の見直しを進める。

➡ **本日の意見交換会**

②検討状況は、**広報紙KOBE**や**市ホームページ**などを活用し
適宜、市民のみなさまと共有していく。

2. 各施設の見直しの方向性

施設	当初の素案	見直しの方向性		施設番号
		方針	内容	
動物園（獣舎等）	再整備	再整備	動物園と遊園地をあわせて現在と同程度の敷地面積を確保	⑤⑫
動物園（遊園地）	廃止			
駐車場	再整備 (遊園地跡地)	再整備	動物や景観に配慮し、補助競技場跡地に整備 屋上の一部をスポーツゾーンとして活用	⑭
大学	新設	新設	敷地面積を約4haから約3.5haに変更	-
スタジアム（フィールド）	再整備	再整備	フィールド及び練習用400mトラック（4レーン）整備 新スタジアムで一般開放の時間帯を設定	⑮
スタジアム（トラック）	廃止			
補助競技場	廃止	機能確保	緑の広場やスポーツゾーン内に多目的に利用できる広場を整備 新スタジアムで一般開放の時間帯を設定	⑧
プール （50m・25m）	廃止	廃止 (園外施設の充実)	新ポートアイランドスポーツセンター50mプールの可動床の導入及び50m・25mプールのレーン増設により一般利用を促進	⑪
プール（幼児用）	廃止	機能確保	緑の広場に水遊びができる親水施設を新設	
テニスコート	廃止	代替	ポートアイランドに6面新設	⑥
		再整備	王子公園内（スポーツゾーン）に2面確保	
エントランス	新設	新設	「緑の広場」として位置づけを明確化	-
ちびっこ広場	存続	再整備	スポーツゾーン内で一体的に整備し機能を充実 (新たな遊具、多目的に利用できる広場等)	②
わんぱく広場	廃止			④
相撲場	存続	廃止	王子公園外の既存施設を活用	⑨
登山研修所	存続	再整備	スポーツゾーン内へ移転新設	⑩
体育館	存続	存続	-	①
弓道場				③
旧ハンター住宅				⑦
神戸文学館				⑬
原田児童館				⑯

再整備 : 王子公園内に従前の施設をリニューアルするもの

代替 : 王子公園外に従前と同等の施設を確保するもの

機能確保 : 王子公園内に概ね従前の機能を確保するもの



2. 各施設の見直しの方向性

施設番号⑤⑫⑭

● 動物園・遊園地(再整備)

動物園と遊園地をあわせて、現在と同程度の敷地面積を確保

● 駐車場(再整備)

動物や景観に配慮し、補助競技場跡地に整備
屋上の一部をスポーツゾーンとして活用



2. 各施設の見直しの方向性

施設番号⑤⑫⑭

● 駐車場への進入路

進入路を園内東側に変更
(現在の遊歩道は確保)

● 現在の進入路

緑の広場から続く歩行者専用
空間として整備 (シンボルプロ
ムナード)



現在の駐車場（スタジアム前）





2. 各施設の見直しの方向性

施設番号（なし）

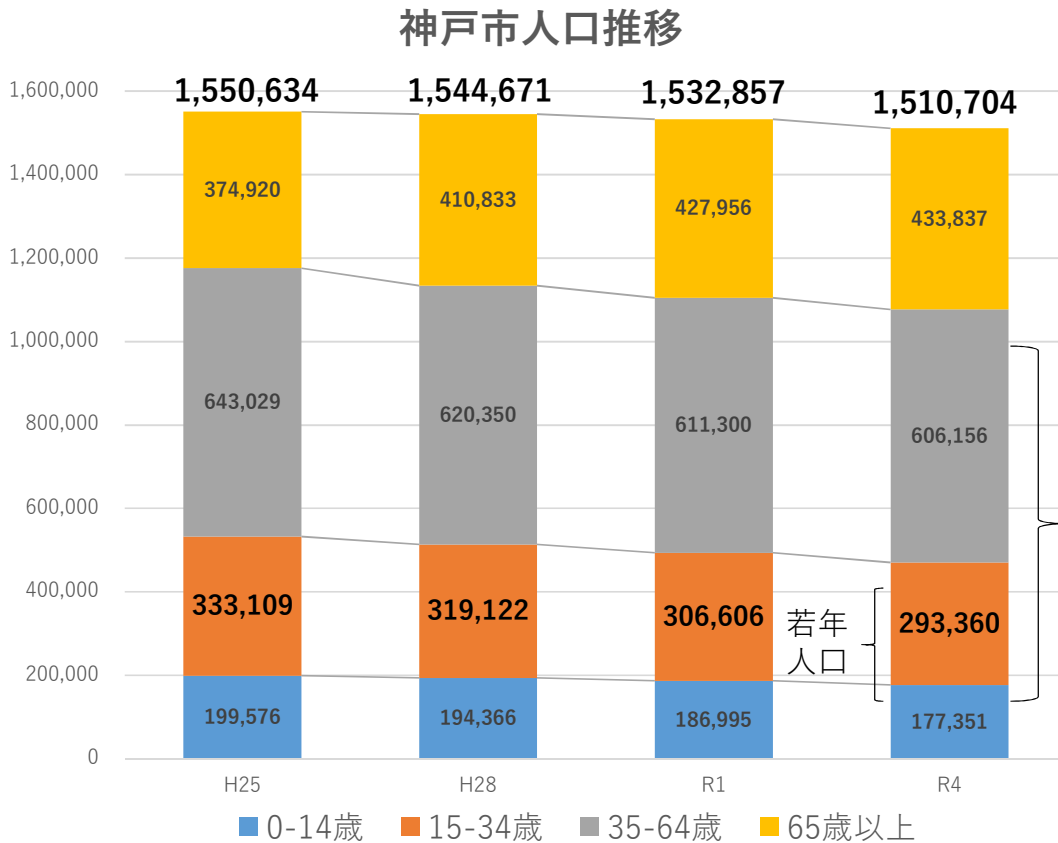
● 大学（新設）

- ・ 敷地面積を当初素案の約 4 haから約3.5haに変更
- ・ 若年定住・交流人口の増加と都市ブランドの向上
- ・ 「市域全体への貢献」と「近隣地域への貢献」の両立

➡ **大学誘致は有力な施策**



大学誘致の必要性



神戸市住民基本台帳より（各年3月末時点の人口）

直近10年間の市の人口推移

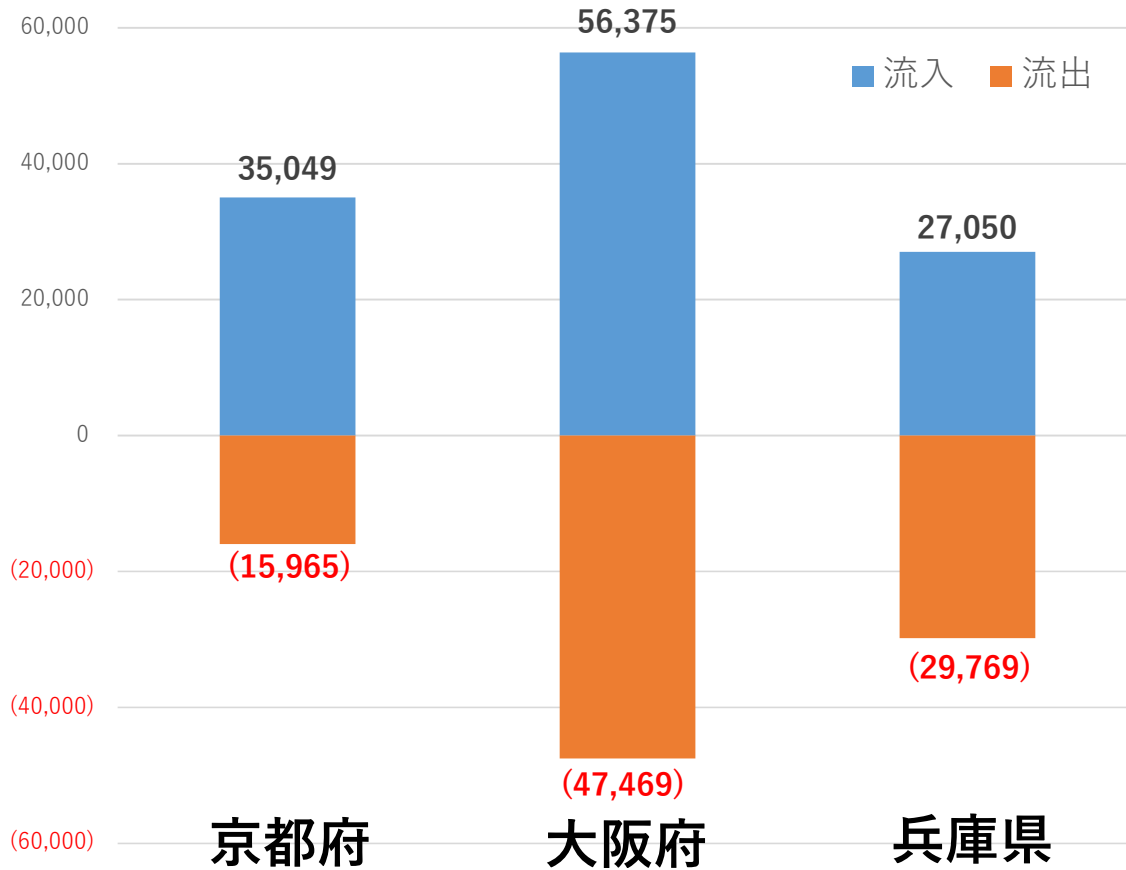
- ・全市人口は約4万人減少
 - ・生産年齢人口(15~64歳)は約8万人減少
 - ・若年人口(15~34歳)は約4万人減少
- ⇒若年人口の減少が顕著



若年人口の流入対策が必要

大学誘致の必要性

大学進学時の流入・流出者数



文部科学省「学校基本調査」(令和3年度)

大学進学時の流入・流出者数

- ・京都府：約19,000人の流入超過
- ・大阪府：約 8,900人の流入超過
- ・兵庫県：約 2,700人の**流出超過**



- ・地元の高校生の県内定着
- ・優秀な人材の確保 **が必要**

＜大学に期待するもの＞

「市域全体への貢献」

○まちの質・暮らしの質・都市ブランドの向上

優秀な人材の確保・育成・輩出

イノベーション機能の強化

国際性・多様性の創出により、都市ブランドの向上

○人口誘因・経済効果 等



持続可能な神戸の発展に寄与

まちの質・くらしの質・都市ブランドの向上 イノベーション機能の強化

○大学発アーバンイノベーション神戸

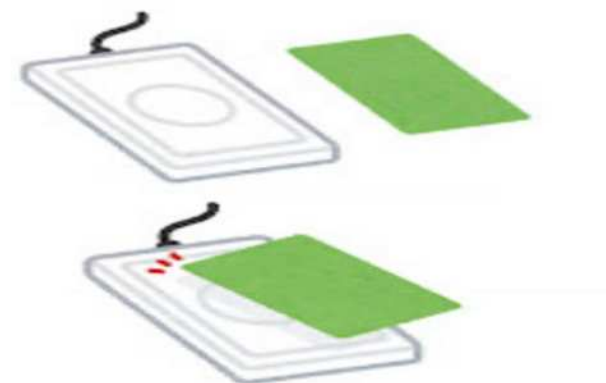
神戸市の地域課題、行政課題の解決等を目的とした
若手研究者の研究活動を支援（【実績※】R3：8件 R2：14件）

※神戸市内の大学の採択数

<事例>

「すいすいコイン」実証実験

地域デジタル通貨による地域コミュニティ再構築
および経済活性化に関する効果研究
対象地域：水道筋商店街周辺



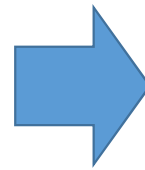
市域全体への経済効果

平成25年度の調査分析によると、市内
大学・短期大学の活動に伴う効果は、

直接効果：1,835億円

総合効果：2,747億円

- ※ 学生数：70,837人
- ※ 附属病院の効果は含まない
- ※ 但し、それぞれの効果には一部
神戸市外への経済効果も含まれる



3,500人規模の大学を
誘致した場合

直接効果：90億円

総合効果：135億円

- ※ 附属病院の効果は含まない
- ※ 校舎等の新築費は含まない
- ※ 但し、それぞれの効果には一部
神戸市外への経済効果も含まれる

$$\times \frac{3,500人}{70,837人}$$

直接効果 … 「教育研究活動」「教職員・学生の消費」など

総合効果 … 直接効果 + 間接効果（消費増加により新たに誘発された生産）

出典：公益財団法人神戸都市問題研究所、「市内立地大学等が神戸
市域に及ぼす経済波及効果分析」,季刊都市政策 第158号

<大学に期待するもの>

「近隣地域への貢献」

○地域商業などへの経済効果

学生・大学関係者など、昼間・夜間人口の増加
王子公園駅の利用者の増加

**地域内の
集客力の向上**

○地域の賑わいづくり

大学の担う使命の1つ「社会貢献」
学生の地域活動への参加、担い手不足の解消
学びなおし（リカレント教育）の機会の提供

生活の質の向上等

大学生の社会貢献、地域活動への参加



高齢者向けスマホ教室

(NPO法人コミュニティ
サポートセンター神戸)

地域で孤立しがちな高齢者向けの
スマホ講座や悩み事相談を実施



神戸こども 宅食プロジェクト

(BE KOBEミライPROJECT)

困窮子育て世帯に食品等を
届ける「こども宅食」の実施



ワクチン接種(お助け隊)

市内の大学生等が
ワクチン接種予約をお手伝い

近隣大学のリカレント教育（主な事例）

○【甲南大学】法務リカレントプログラム

企業活動を支える法制度・法務に関する専門的知識や、自治体で必要とされる政策法務・公共法務などの学びを提供

○【甲南大学】ソーシャルビジネス・アントレプレナー育成プログラム

地域社会のためのスモールビジネス実践型プログラムを提供

※基礎コース：事例を学びつつビジネスプランを考える

※実践コース：ビジネスの実現をハンズオン教育で支援

○【神戸大学】食農ビジネスキャリア形成プログラム

食と農の分野で新しいキャリアのスタートを目指す人に学び直しとマッチングの機会を提供
(ラーニング、ジョブリサーチ、キャリアサポート)

○【兵庫県立大学】DX人材育成プログラム（仮称）

中小企業のDX人材育成を目的とした「データサイエンス」や「デジタルマーケティング」プログラムを提供

2. 各施設の見直しの方向性

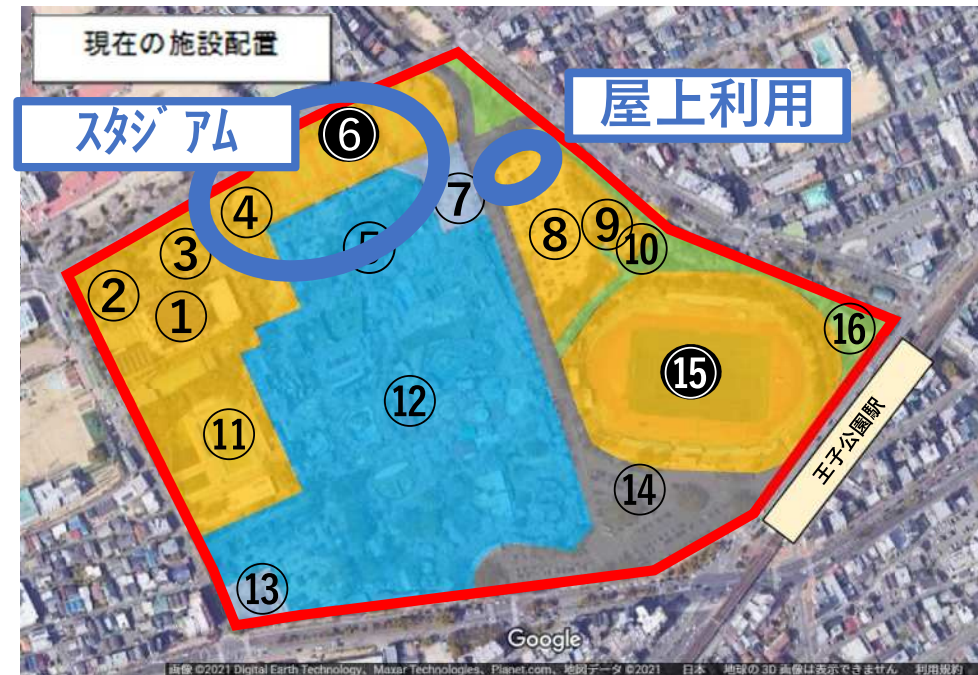
施設番号⑥⑮

●スタジアム(再整備)

- ・フィールド及び練習用400mトラック(4レーン)整備
- ・一般開放の時間帯を設定

●テニスコート(代替・再整備)

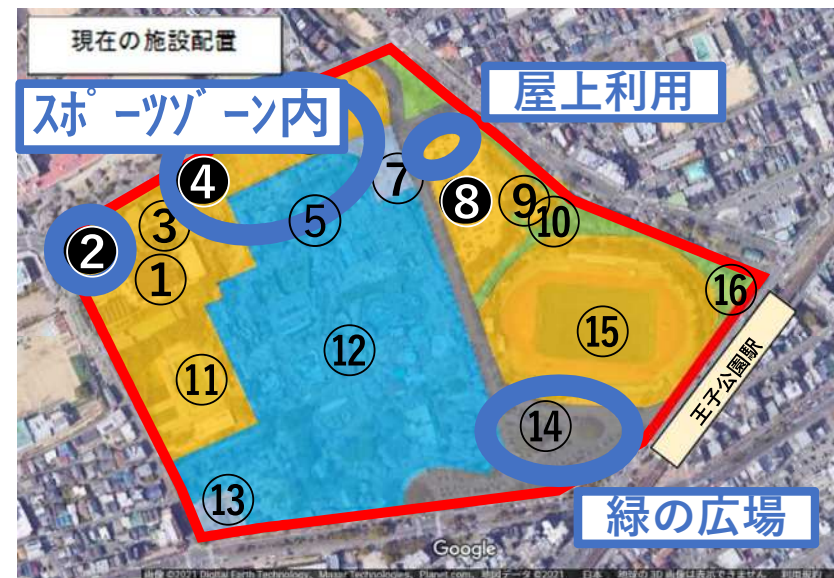
- ・ポートアイランドに6面新設
- ・王子公園内(スポーツゾーン)に2面確保



2. 各施設の見直しの方向性

施設番号②④⑧

- **ちびっこ広場・わんぱく広場(再整備)**
 - ・ スポーツゾーン内で一体的に整備し、機能を充実(新たな遊具、広場等)
- **補助競技場(機能確保)**
 - ・ 緑の広場やスポーツゾーン内に多目的に使える広場を整備
 - ・ 新スタジアムで一般開放の時間帯を設定



健康遊具



©株式会社コトブキ



©株式会社コトブキ

3×3 (バスケットボール)



複合遊具



©株式会社コトブキ



©株式会社コトブキ



©株式会社コトブキ

ボルダリング



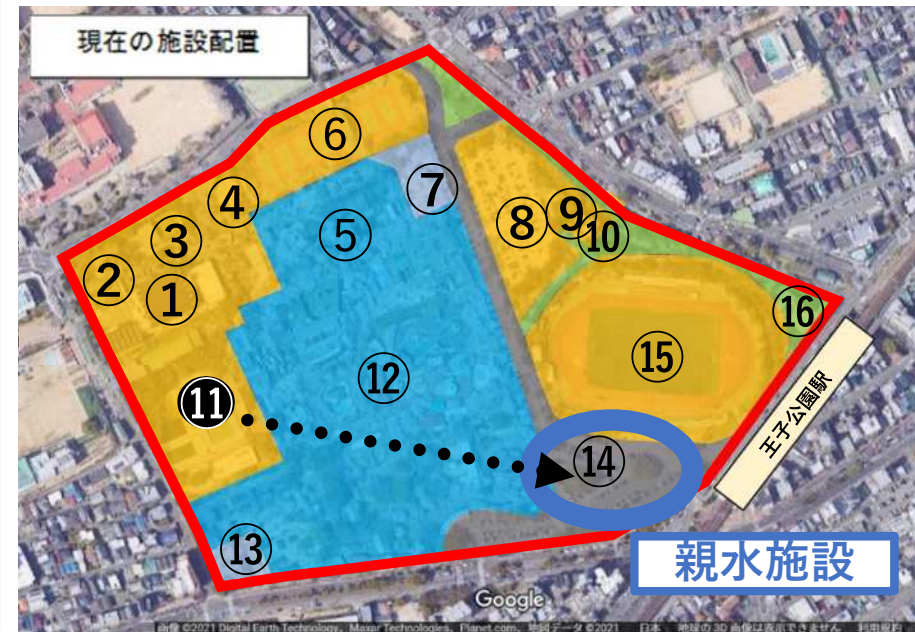
クライミング



2. 各施設の見直しの方向性

施設番号⑪

- **プール(50m・25m)(廃止)**
 - ・ 新ポートアイランドスポーツセンター50mプールの可動床の導入
 - ・ 50m・25mプールのレーン増設により、一般利用を促進
- **プール(幼児用)(機能確保)**
 - ・ 「緑の広場」に水遊びができる親水施設を新設



2. 各施設の見直しの方向性

施設番号 (なし)

● 緑の広場(新設)

- ・ 誰もが憩い、くつろげる一般に開放された空間
- ・ 「緑の広場」として位置づけを明確化
- ・ ラジオ体操、地域活動、大学との交流などに活用できる多目的な芝生広場
- ・ 子どもたちが遊べる遊具や水遊びのできる親水空間 など



2. 各施設の見直しの方向性

施設番号⑨⑩

●相撲場(廃止)

- ・王子公園外の既存施設を活用

●登山研究所(再整備)

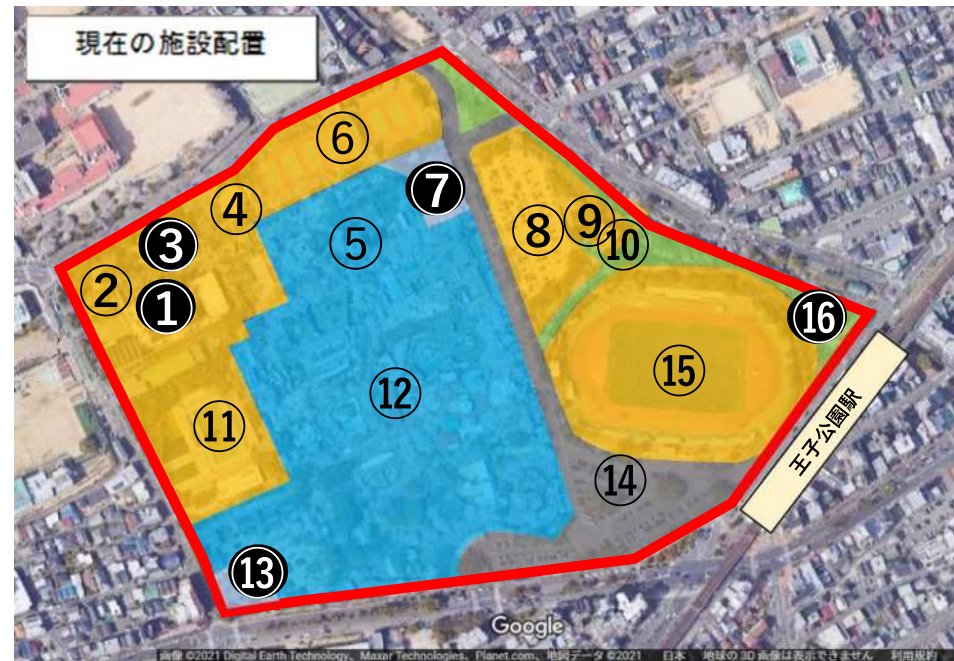
- ・スポーツゾーン内で移転整備



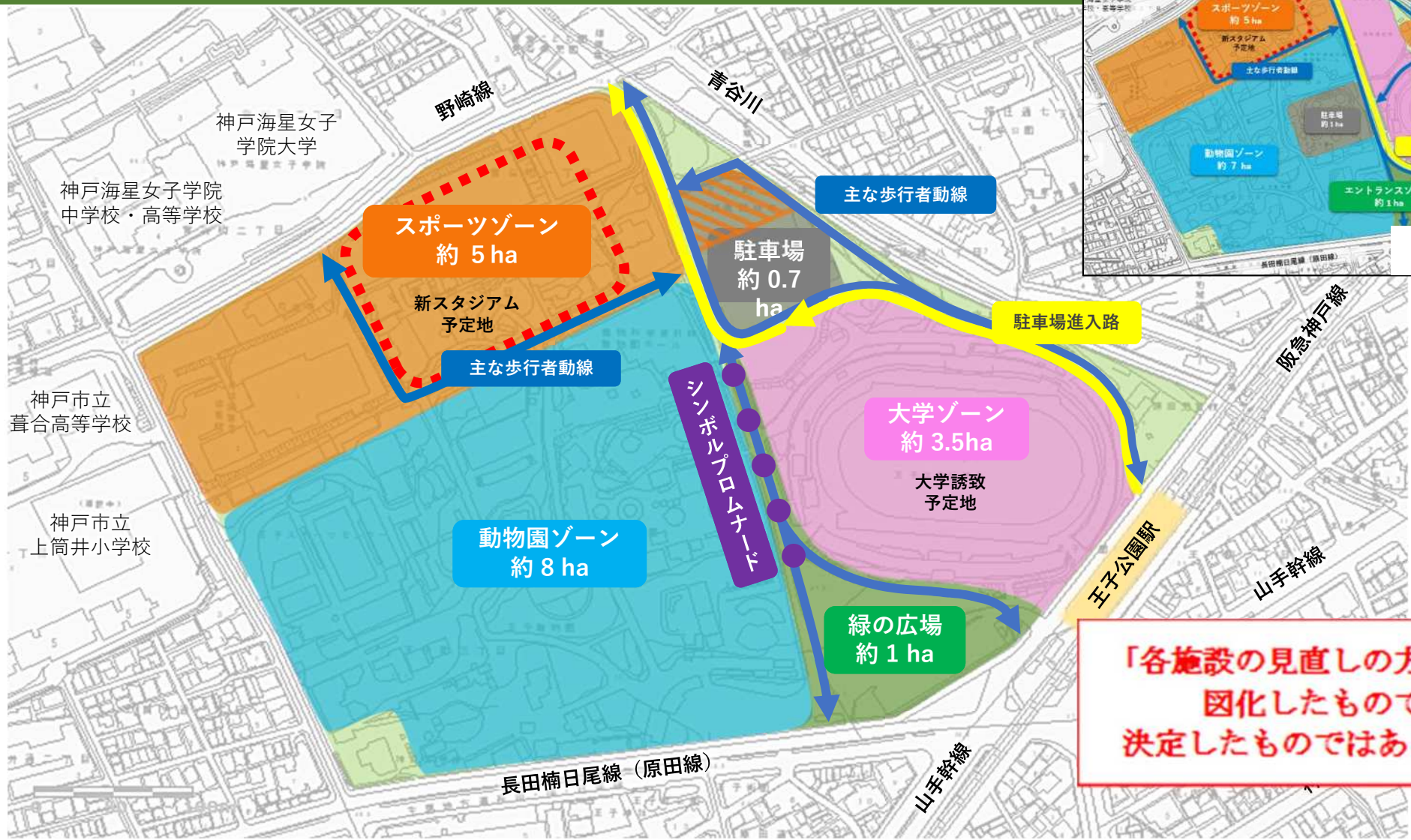
2. 各施設の見直しの方向性

施設番号

- ① 体育館 (存続)
- ③ 弓道場(近的・遠的) (存続)
- ⑦ 旧ハンター住宅 (存続)
- ⑬ 神戸文学館 (存続)
- ⑯ 原田児童館 (存続)



見直しに向けたゾーニング（案）



「各施設の見直しの方向性」を
図化したものです
決定したものではありません